

2026年11月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年 7 月14日

上場会社名 株式会社勝美ジャパン 上場取引所 東
コード番号 226A URL <https://www.katsumijapan.com/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 裕康
問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部部長 (氏名)大崎 英治 (TEL)03(6810)8561
中間発行情報提出予定日 2026年 8 月28日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期中間期の業績 (2025年12月 1 日～2026年 5 月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期中間期	1,200	△5.0	118	△16.0	116	△16.3	81	△11.6
2025年11月期中間期	1,263	28.9	140	60.6	139	66.8	91	64.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期中間期	40.11	—
2025年11月期中間期	45.83	—

(注) 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期中間期	1,526	620	40.6
2025年11月期	1,477	571	38.7

(参考) 自己資本 2026年11月期中間期 620 百万円 2025年11月期 571 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	0.00	15.79	15.79
2026年11月期	0.00		
2026年11月期(予想)		14.87	14.87

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 配当予想の修正につきましては、本日 (2026年 7 月14日) 公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年11月期の業績予想 (2025年12月 1 日～2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,484	△2.6	234	△1.1	229	△2.4	150	△5.9	74.33

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の修正につきましては、本日 (2026年 7 月14日) 公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年11月期 中間期	2,020,000株	2025年11月期	2,020,000株
② 期末自己株式数	2026年11月期 中間期	- 株	2025年11月期	- 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年11月期 中間期	2,020,000株	2025年11月期 中間期	2,000,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復傾向に向かっている一方で、主要国での通商政策影響や中東情勢の影響もあり、また国内でのエネルギーコストの上昇、物流コスト高や物価高など、先行き不透明で厳しい状況が続いております。

また、メディカル給食業界においては、施設や病院等での人手不足と高齢化の流れがさらに深刻化する中、それを補う加工食品や完全調理済み食品のニーズはますます高まっております。

このような環境下、当社は、当中間会計期間において、新規顧客の獲得や、全国の展示会への積極的な出展等の営業努力、インドネシア産冷凍蒸葉物野菜（無加熱摂取冷凍食品）の輸入拡大等の施策を進めてまいりましたが、一方で、販売先の施設や病院において、物価高からの仕入価格見直しによる他社低価格品へのシフトもあり、当中間会計期間での売上への影響が出ております。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は1,200,098千円（前年同期比5.0%減少）、営業利益は118,371千円（同16.0%減少）、経常利益は116,812千円（同16.3%減少）、中間純利益は81,014千円（同11.6%減少）となりました。

なお、当社はメディカル給食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間の財政状態につきましては、次のとおりです。

（資産の部）

総資産は1,526,582千円（前期末比49,036千円増）となりました。流動資産につきましては、1,448,673千円（同23,353千円増）となりました。これは主に、現預金が15,901千円減少、売掛金が25,700千円減少し、商品が63,890千円増加したことによるものです。固定資産につきましては、77,909千円（同25,683千円増）となりました。これは主に、ソフトウェアが19,021千円増加、関係会社出資金が10,000千円増加したことによるものです。

（負債の部）

負債合計は906,543千円（前期末比97千円増）となりました。流動負債につきましては、593,575千円（同11,997千円増）となりました。これは主に、買掛金が33,136千円増加、短期借入金が35,000千円増加、未払金が13,713千円減少、未払法人税等が26,045千円減少したことによるものです。固定負債につきましては、312,968千円（同11,900千円減）となりました。これは主に、長期借入金が13,340千円減少したことによるものです。

（純資産の部）

純資産につきましては620,039千円（前期末比48,939千円増）となりました。これは主に、中間純利益による81,014千円の増加及び株主配当金による31,895千円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は489,664千円（前期末比15,901千円減）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は28,140千円となりました。これは、主な増加要因としては税引前中間純利益116,812千円、仕入債務の増加額33,136千円であった一方、棚卸資産の増加額63,890千円、法人税等の支払額64,198千円であったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は26,075千円となりました。これは主にソフトウェア（販売管理システム）リプレイスによる無形固定資産の取得による支出16,075千円、関係会社出資金の払込による支出10,000千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は17,965千円となりました。主な増加要因として短期借入金による収入35,000千円、長期借入金による収入60,000千円があった一方、長期借入金の返済による支出81,070千円、配当金の支払額31,895千円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く環境は、1.(1)経営成績に関する説明にも記載しておりますが、日本国内での物価高の影響を受けて、販売規模の大きな施設・病院、卸流通企業において仕入価格の見直しから安価な他社品への切替など、厳しい状況が続いております。

このような環境下にあっても、メディカル給食業界においては人手不足や高齢化の流れはますます深刻化しており、当社では、新たな低価格商品を加え、販路開拓等の施策を積極的に展開してまいります。

これらの状況を踏まえ、2026年11月期の通期業績予想につきましては、売上高は2,484,000千円（前期比2.6%減）、営業利益234,241千円（同1.1%減）、経常利益229,544千円（同2.4%減）、当期純利益150,145千円（同5.9%減）を見込んでおります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年11月30日)	当中間会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	513,365	497,464
売掛金	392,424	366,723
商品	400,479	464,370
前渡金	119,983	119,249
前払費用	3,515	1,937
その他	3,823	7,043
貸倒引当金	△8,273	△8,116
流動資産合計	1,425,319	1,448,673
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,937	5,937
減価償却累計額	△1,030	△1,255
建物（純額）	4,907	4,682
車両運搬具	1,348	1,348
減価償却累計額	△1,348	△1,348
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	10,507	10,507
減価償却累計額	△6,484	△7,188
工具、器具及び備品（純額）	4,023	3,318
有形固定資産合計	8,930	8,001
無形固定資産		
商標権	45	15
ソフトウェア	4,662	23,683
ソフトウェア仮勘定	4,400	-
無形固定資産合計	9,107	23,698
投資その他の資産		
投資有価証券	2,724	2,446
出資金	70	70
関係会社出資金	-	10,000
長期前払費用	24	24
長期前渡金	4,843	4,843
繰延税金資産	23,310	25,764
その他	8,060	7,905
貸倒引当金	△4,843	△4,843
投資その他の資産合計	34,188	46,210
固定資産合計	52,226	77,909
資産合計	1,477,546	1,526,582

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年11月30日)	当中間会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,955	80,092
短期借入金	210,000	245,000
1年内返済予定の長期借入金	148,190	140,460
未払金	59,065	45,352
未払費用	36,197	26,791
未払法人税等	64,114	38,069
未払消費税等	15,926	6,030
賞与引当金	-	9,143
預り金	1,128	2,631
その他	-	5
流動負債合計	581,577	593,575
固定負債		
長期借入金	295,528	282,188
役員退職慰労引当金	29,340	30,780
固定負債合計	324,868	312,968
負債合計	906,445	906,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,000	88,000
資本剰余金		
資本準備金	6,000	6,000
資本剰余金合計	6,000	6,000
利益剰余金		
利益準備金	20,500	20,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	456,732	505,850
利益剰余金合計	477,232	526,350
株主資本合計	571,232	620,350
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△131	△311
評価・換算差額等合計	△131	△311
純資産合計	571,100	620,039
負債純資産合計	1,477,546	1,526,582

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年12月 1 日 至 2025年 5 月31日)	当中間会計期間 (自 2025年12月 1 日 至 2026年 5 月31日)
売上高	1,263,639	1,200,098
売上原価	745,880	685,749
売上総利益	517,758	514,348
販売費及び一般管理費	376,894	395,977
営業利益	140,864	118,371
営業外収益		
受取利息	173	511
受取配当金	-	35
助成金収入	300	-
受取保険金	-	410
受取手数料	686	820
為替差益	344	63
営業外収益合計	1,504	1,841
営業外費用		
支払利息	2,801	3,400
営業外費用合計	2,801	3,400
経常利益	139,566	116,812
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税引前中間純利益	139,566	116,812
法人税、住民税及び事業税	55,280	38,152
法人税等調整額	△7,380	△2,355
法人税等合計	47,900	35,797
中間純利益	91,665	81,014

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年12月 1 日 至 2025年 5 月31日)	当中間会計期間 (自 2025年12月 1 日 至 2026年 5 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	139,566	116,812
減価償却費	1,802	2,414
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,733	9,143
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,856	△157
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	-	1,440
受取利息及び受取配当金	△173	△546
支払利息	2,801	3,400
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,299	25,700
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△131,598	△63,890
前渡金の増減額 (△は増加)	△12,761	734
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,460	33,136
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,983	△9,895
未払金の増減額 (△は減少)	3,393	△13,713
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,914	△9,406
その他	1,604	20
小計	31,775	95,192
利息及び配当金の受取額	173	546
利息の支払額	△2,801	△3,400
法人税等の支払額	△25,032	△64,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,114	28,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△1,466	△16,075
関係会社出資金の払込による支出	-	△10,000
投資有価証券の取得による支出	△2,928	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,394	△26,075
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	-	35,000
長期借入れによる収入	120,000	60,000
長期借入金の返済による支出	△76,510	△81,070
配当金の支払額	△25,700	△31,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,790	△17,965
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,510	△15,901
現金及び現金同等物の期首残高	397,904	505,565
現金及び現金同等物の中間期末残高	415,414	489,664

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はメディカル給食事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

(重要な後発事象)

(運転資金の借入について)

当社は2026年7月14日に開催した取締役会において、以下のとおり資金の借入を行うことを決議いたしました。

- (1) 借入先：金融機関より調達予定
- (2) 借入金額：150,000千円
- (3) 借入金利：変動金利
- (4) 借入実行日：2026年7月31日
- (5) 返済期日：2031年7月31日
- (6) 担保状況：無担保
- (7) 資金使途：運転資金
- (8) 財務制限条項：なし